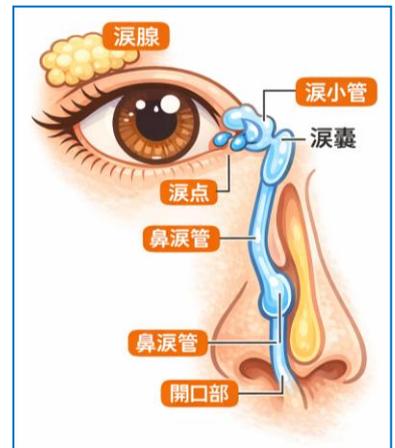


るいどうへいそくしょう 涙道閉塞症

涙は、上まぶたの耳側にある涙腺から分泌され、眼の表面(角膜・結膜)を潤したあと、目頭にある涙点から涙小管、涙囊、鼻涙管を通じて鼻の奥へ流れていきます。この涙の通り道(涙道)がうまく働かなくなり、涙が正常に排出されなくなる疾患を涙道閉塞症といいます。涙道が詰まると、目が潤む、涙があふれ出るといった症状(流涙症)がみられます。主な原因は、加齢により涙道の中に老廃物がたまり、通り道が徐々に狭くなったり、詰まったりすることとされています。なお、鼻涙管の内側が狭くなる状態は鼻涙管狭窄症と呼ばれます。涙がうまく流れないため、常に目が潤んでいると感じたり、泣いていないのに涙がこぼれてくることがあります。また、涙が停滞することで目やにが増えることもあります。



涙道閉塞症は、目薬や飲み薬だけでは改善しないことがほとんどで、閉塞している部分を開通させ、シリコンチューブなどを留置する治療が必要となります。閉塞している部位によって、治療の難易度や改善の程度は異なります。涙点が開塞している場合には、涙点切開を行います。それ以外の部位では、「ブジー」と呼ばれる細い金属製の器具を涙道内に挿入し、閉塞している部分を広げて開通させます。涙小管は、周囲をやわらかい筋肉(眼輪筋)に囲まれているため形が不安定で、特に治療が難しい部位です。無理に力を加えると、本来の涙道とは異なる方向に穴を開けてしまうおそれがあるため、慎重な操作が必要となります。そのため当院では、超細小型の内視鏡付きブジーを用い、涙道内部を確認しながら安全に処置を行っています。

他方、涙囊の下部や鼻涙管は骨(骨性鼻涙管)に囲まれており、構造がしっかりしているため、比較的開通させやすい部位とされています。再開通が得られた場合には、再び詰まるのを防ぐ目的で、涙道内に細いシリコンチューブを留置します。シリコンチューブ治療で十分な効果が得られない場合には、他の手術方法を検討します。治療方針は、閉塞の状態や経過に応じて個別に判断します。

当院では、涙道内視鏡を用いたチュービング治療や、鼻腔内視鏡を用いた涙道手術(DCR)を行っています。詳しくは、スタッフまたは主治医までご相談ください。

涙道涙液専門外来 - 医師着任のお知らせ -

4月より新しい医師が着任いたします。「眼科一般」および「涙道(るいどう)・涙液(るいえき)専門外来」を担当いたします。今後も診療体制のさらなる充実を図り、皆さまにより安心して受診していただけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

宮崎千歌(みやざき ちか)先生(兵庫県立尼崎総合医療センター眼科部長・大阪医科薬科大学眼科学教室客員教授・島根大学医学部附属病院眼科「涙道指導医師」)

学術発表および学術論文

本年1月・第49回日本眼科手術学会学術総会(福岡)において、**西 悠太郎先生**(副院長・学術研究統括部長)が多焦点眼内レンズの適応に関する講演を行い、術後の脳アダプテーションに関する討論にも参加しました。

当院医師・スタッフらによる論文“Clinical assessment of brain adaptation following multifocal intraocular lens implantation. BMC Ophthalmology, 2025, Yutaro Nishi et al.”が、**多焦点眼内レンズに関する国際コンセンサス AAPAO; Academy of Asia-Pacific Professors of Ophthalmology**に引用されました。本研究は、多焦点眼内レンズ術後における見え方の質や脳の順応過程を、臨床的に定量化し評価することをテーマとしたものです。本コンセンサスは欧米および日本の専門家によって取りまとめられた、現在の国際的な診療指針の一つです。当院では今後も、臨床と研究双方から、より良い視機能と満足度の向上を目指した質の高い白内障・多焦点眼内レンズ診療・眼科診療に取り組んでまいります。

世界緑内障週間 ライトアップ in グリーン運動



3月8-14日



世界緑内障週間は2008年から世界一斉に行われている緑内障啓発のための国際的イベントです。毎年3月上旬の1週間を世界緑内障週間(World Glaucoma Week)と定め、2018年より日本(発)の医療機関で**ライトアップ運動**を実施。一部海外へも広がっています。当院もライトアップ運動に参加。1F待合室にて。

多焦点眼内レンズ 無料説明会

毎月第1木曜日

西眼科病院 1Fにて

開催予定日： 4月2日(木) 5月7日(木) 6月4日(木) 7月2日(木)

16:00 開始 (30分間)

予約不要



**多焦点眼内レンズ(フェムトセカンドレーザーを用いた白内障手術)
保険外診療(保険適用外)**

ご興味のある方は、この機会にぜひご家族やご友人とご参加ください。多焦点眼内レンズについてわかりやすくご説明いたします。当院 1F 待合室にて。



特殊・専門外来

- **白内障/屈折矯正外来**(フェムトセカンドレーザーを用いた白内障手術・多焦点眼内レンズ・ICL(眼内コンタクトレンズ)・オルソケラトロジー・マイオピン点眼) ● **角膜外来**(角膜疾患全般・角膜移植(PKP/DSAEK/DMEK/DALK)・羊膜移植・円錐角膜・角膜クロスリンクング・エキシマレーザーPTK) ● **ぶどう膜炎外来** ● **網膜硝子体外来**(メディカルレチナ・サージカルレチナ) ● **緑内障外来** ● **涙道外来**(チュービング・DCR) ● **眼瞼・眼形成外来**(内反症・眼瞼下垂・翼状片) ● **ドライアイ外来** ● **ロービジョン外来** ● **斜弱眼筋麻痺外来** ● **小児眼科外来**(斜視・弱視等)

当院では、基本理念のもと、スタッフ全員で症例の共有を行い患者さんにとっての最適解を選択しております